

令和七年

霜月 十一月の上生菓子

一個 三八〇円（税込）

「霜月」は霜が降る季節から付けられました。
秋の物寂しい風情がいつそう深まり、冬の気配が一層感じられます。

山茶花

さざんか

小豆餡芯 練り切り製
垣根に咲いた初冬の花を
表現しました。



亥の子餅

いこもち
亥の子餅

小豆餡芯 餅生地 晒餡まぶし
旧暦十月中に亥の日餅を
搗いて贈答します。

初霜

はつしも
初霜

粒餡芯、薯蕷きんとん製
山芋使用
うっすらと白くかかる霜。
冬が近づく風情です。



ざんしょう
残照

小豆餡芯かの子、こなし巻き
辺り一面に色づいた木々が
残照に一葉だけ残っている
様子を表現しました。



ふゆとなり
冬隣

栗入り白餡芯
雪平・羊羹貼り合わせ巻き
卵、ごま使用
晩秋の頃、冬がもうすぐ
近づいている風情を表現し
ました。



冬隣

ご予約商品

十月二十六日（日）から販売いたします。
三日前までにご予約をお願いいたします。

※写真と実際の商品とは、色合いが多少異なる場合がございます。



成田山表参道

はなみの米屋